

2024年度

ニチイキッズ北上さくら保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月10日（金）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月20日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、子ども主体の保育を実践することが出来た。研修や会議で子ども主体の保育とは何かを考える時間を作り、保育理念に基づいた保育を行うことができた。
子どもの発達援助	個々の保育指導計画を作成し、発達に合わせた保育を行っていく事に重点を置き一人一人の成長を大切にした。成長に合わせた子どもの発達や保育内容について、その都度全職員で話し合うことが出来た。個々の発達に合わせた保育内容を考え、心と体の成長へと繋げるように取り組めた。
保護者に対する支援	送迎の際の保護者とのコミュニケーションを大切にし、共に子どもの成長を喜び合いながら信頼関係の構築に努めた。園内行事の際には行事の様子が分かる写真を玄関に掲示し、行事の雰囲気を感じてもらえるようにした。保護者参加行事では、日頃の保育の様子が分かる内容にしたことで、普段の様子や雰囲気を伝える事が出来た。
保育を支える組織的基盤	園内研修、安全研修を毎月実施し、自らの保育を見直す機会を掴った。児童虐待、不適切保育撲滅に向けた研修を多く取り入れ、事例検討を通して自らの保育に置き換えて話し合った。職員の意識を高め資質の向上に努めた。

総評
会議やミーティング以外にも職員間でコミュニケーションを取り合い、風通しの良い環境作りに努めた。今年度から始まった、ニチイキッズ北上むらさきの保育園との土曜日共同保育や近隣園からの業務支援を通して、ニチイキッズの園と交流する機会が多くあり、情報交換や業務マニュアルを基にした保育の標準化を図ることが出来た。また、保護者が安心出来るような子ども主体の保育を行うことを職員全体で意識した。次年度に向け、小規模保育園ならではの良さを保護者にも実感して頂けるよう、一人一人の発達に合わせた丁寧な保育を継続していきたい。